

ミライトーク開催

宇部市長が
県知事と会談

令和8年1月18日(日)13時30分より宇部市福祉ふれあいセンター2階において、宇部市長 篠崎圭二氏の主催によるミライトークが開催され、4名が参加しました。この趣旨は、市長が政治家を志した経緯や、山口県や宇部市に関する思いを語るトークショーで、今回は山口県知事 村岡嗣政氏をゲストに迎えて約1時間のトークが繰り広げられました。当初の20分間は知事が企業誘致、少子化対策、財政の健全化、移住政策など県の取り組みを紹介しました。その後、山口県と宇部市の連携内容、宇部市の行政内容などを市長が説明され、両氏とも行政に対する熱い思いを展開していました。お二方は高校卒業まで同じ経歴で、タッグを組むと最強の首長です。自衛隊に対する理解も深い方々なので、隊友会としてもお二人を応援しましょう。



存立危機事態発生？

昨年11月7日の衆議院予算委員会において、立憲民主党(当時)岡田氏の台湾有事に関する質問に対し、高市早苗首相が所謂「存立危機事態」について答弁しました。これを受けて中国は内政干渉に当たると猛反発、大阪総領事 薛劍氏による批判や日本への渡航制限、台湾周辺における軍事演習など日本に対する制裁を含め、極めて過敏に反応しました。

その後も中国の日本に対する強硬姿勢に変化は見られず、昨年12月6日にはスクランブル発進した自衛隊機に対して中国軍機がレーダーを照射するなど、一触即発の事態も発生しました。

我が国を取り巻く昨今の安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑で、遷延化しています。下図はその状況を表した図ですが、我が国の防衛は、もはや我が国単独では極めて困難な状況にあり、国連をはじめ同盟関係にある国々の協調はもとより、経済関係諸国との連携や外交、政治が一体となって対処しなければ、周辺諸国事態の偶発的衝突を避けることが出来ない状況になっています。

我が国自衛隊は、「いざ鎌倉」という時に備えて、警戒監視、防衛・防災の訓練、救難、輸送、国際協力など昼夜を分かたず活動しています。隊友会としては協力団体として引き続き応援するとともに、優秀な後輩の獲得に努力しましょう。

